



第18回 KECテクノフォーラム

マイクロ波・レーザー光利用の最新動向

電波や光の応用は、通信のみならず多くの分野に広がっています。今回のフォーラムでは、気象観測、インフラ検査という我々の身の回りのマイクロ波、レーザー光応用に注目し、これらの第一線でご活躍の方々を講師にお招きし、ご講演をいただきます。

日時 2017年12月7日(木) 13:30~17:00

開催場所 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター けいはんな試験センター
(京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2)

主催 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 研究専門委員会

協賛 センシング技術応用研究会

定員 先着30名(定員になり次第募集締切)

参加費 KEC会員・協賛... **無料** 非会員...1,000円 (会員・非会員ともに参加申込みが必要です)

プログラム

13:30 開催の挨拶 KEC 研究専門委員会 委員長 岡村 康行

豪雨を高速に分解するフェーズドアレイレーダ

首都大学東京大学院 システムデザイン研究科

航空宇宙システム工学域 リモートセンシング研究室

教授 牛尾 知雄 氏

13:35

14:35

本講演では、局地的な豪雨をもたらず積乱雲あるいは雷雨を測るレーダを取り上げ、その最近の取り組みを紹介したい。フェーズドアレイ気象レーダは、このような積乱雲を30秒以内に観測できる世界最高の性能を有している。本レーダの研究開発について、また観測結果について紹介すると共に、2020年に予定されている実証実験、さらには偏波型のフェーズドアレイ気象レーダの研究開発についても言及する。

高強度レーザーを用いたトンネルコンクリートの遠隔検査手法の開発

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

量子ビーム科学研究部門 X線レーザー研究グループ

主幹研究員 長谷川 登 氏

14:40

15:40

我が国のトンネルの多くは高度経済成長期に建設されたものであり、今後も安全に使用していくためには定期的な点検が欠かせない。現在、トンネルコンクリートの検査は、主に打音検査によって人力で行われているが、我々はこれを遠隔・高速・自動化する新しい検査手法(レーザー打音)の開発を行っている。本講演では、高強度パルスレーザーとレーザー干渉計を組み合わせたレーザー打音装置の屋外実証試験の最新の結果について紹介する。

15:50

17:00

【KEC事業紹介】

- ・ 概要説明
- ・ 設備見学会 (電波暗室、主要試験設備など)

KEC 試験事業部

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

●お申込み・お問い合わせにつきましては裏面をご確認ください●

お申込み要領

申込方法

弊センター ウェブサイト (<https://www.kec.jp/seminar/ktf18/>) からお申込みください。

送金方法

非会員の方には、受付後、請求書をご送付いたします。
請求書記載の指定銀行にお振込みください。

問合せ先

一般社団法人KEC 関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 事務局 柴田 賢一
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2
TEL: 0774-29-9041 / FAX: 0774-93-4564 / E-mail: publication01@kec.jp

参加方法

参加証等は発行していません。
フォーラムにて使用するテキストは当日配付いたします。
※受付は13:00から開始します。昼食は各自お済ませのうえご参加ください。

その他

キャンセルは原則としていたしかねます。
欠席の場合は代理出席を受け付けております。

会場へのアクセス

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター けいはんな試験センター 大会議室



● 近鉄京都線「新祝園」駅 / JR学研都市線「祝園」駅より

■ タクシー (約10分)

■ 奈良交通バス (約15分)

- 1番のりば: 36系統「光台循環内回り」
56系統「学研奈良登美ヶ丘駅」行き
2番のりば: 59系統「学研奈良登美ヶ丘駅」行き
「けいはんなプラザ」下車 北へ徒歩5分

● 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅より

■ タクシー (約10分)

■ 奈良交通バス (約15分)

- 1番のりば: 56系統「祝園駅」行き
59系統「祝園駅」行き
「けいはんなプラザ」下車 北へ徒歩5分

お申込みはこちら

<https://www.kec.jp/seminar/ktf18/>